

将来像・基本理念（案）

—— “方向性”と“考え方”の合意 ——

背景と方向性について

背景

- 人口減少【令和3年(現行計画策定時)56,332人→令和13年(次期総合計画終期)46,369人】
- 高齢化【令和3年39.9%→令和13年(次期総合計画終期)44.1%】
- 分野横断の必要性【審議会意見】

将来像及び基本理念については、これまで段階的に高めてきた流れを継承しつつ、人口減少や社会構造の変化といった背景を踏まえ、見直しを行う必要があると考えています。なお、見直しにあたっては、全面刷新ではなく、「継承」と「進化」を基本とした考え方で進めていくことが適当であると考えています。

《 変えない⇒停滞× 変えすぎ⇒断絶× “進化”という考え方◎ 》

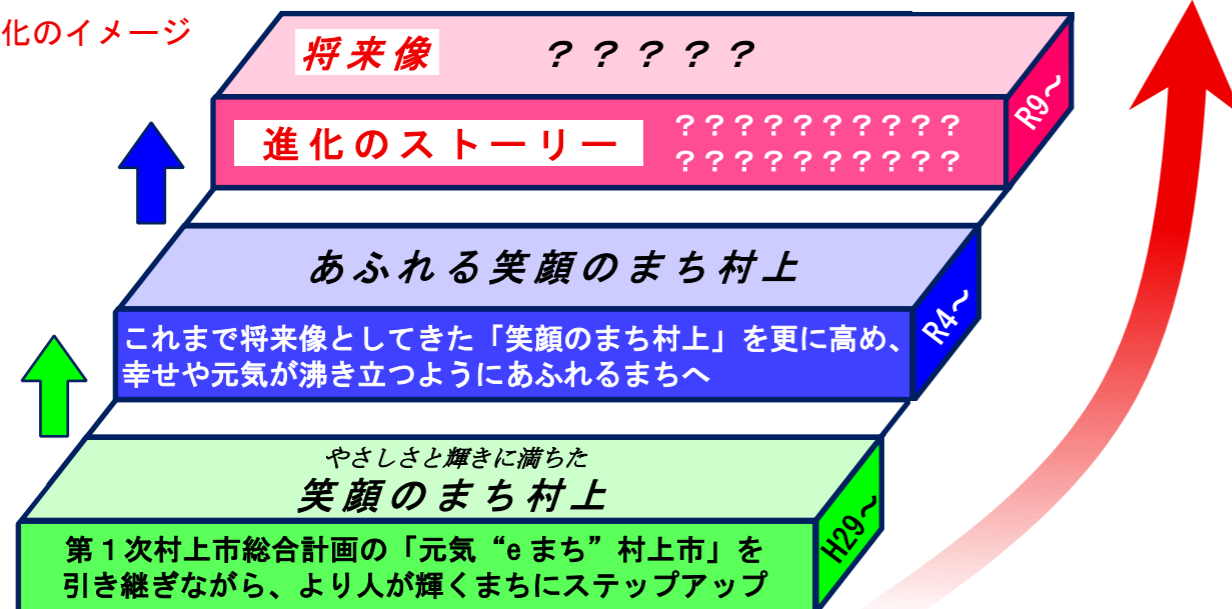
将来像の考え方について

将来像については、単なる理想の提示ではなく、時代の変化に適応していくための“進化のストーリー”として位置づけることが重要であると考えています。これまでの総合計画においては、「笑顔のまち」を掲げ、段階的にその内容を高めてきました。次期計画においては、その流れを継承しつつ、人口減少や高齢化といった社会構造の変化を踏まえ、持続可能性や分野横断的な取組を重視した新たな段階へと進化させていきたいと考えています。

◆ポイント

- これまでの将来像の継承（「笑顔」の位置づけは？）
- 社会構造の変化への対応（人口減少と高齢化、持続可能性）
- 横断的な取組（分野横断による課題解決）

※進化のイメージ



■ 将来像・進化のストーリー（案）

(案1) 将来像 「あふれる笑顔が未来へつながるまち村上」

※継承+進化型 現行の「笑顔」を活かしつつ、時代適応を加える

ストーリー これまでの「あふれる笑顔」を継承しつつ、人口減少や社会構造の変化に対応し、持続可能で支え合いながら発展するまちへ

(案2) 将来像 「変化にしなやかに対応し、選ばれ続けるまち村上」

※人口減少対応型 現実を正面から捉える

ストーリー これまでの「あふれる笑顔」を継承しつつ、人口減少と向き合い、暮らしを守りながら選ばれ続けるまちへ

(案3) 将来像 「心つながる私たちの村上」

※分野横断 横断的取組を表現

ストーリー これまでの「あふれる笑顔」を継承しつつ、つながりと支え合いにより、共に成長するまちへ

基本理念の考え方について

基本理念については、これまでの「創る・育む・広げる」の考え方が、市民憲章にも位置づけられている本市に根付いた理念であり、分野横断的に活用できる普遍性を有していることから、基本的には継承することが適当であると考えています。そのうえで、人口減少や社会構造の変化を踏まえ、その意味合いや具体的な内容については再整理し、次期計画にふさわしい形で再定義していきたいと考えています。

創る	物事を創り出す 食を創る 賑わいを創る 芸術を創る …
育む	誇りを育む 人材を育てる 産業を育てる 伝統を育む …
広げる	笑顔を広げる 交流を広げる 多方面に展開する 将来につなげる …

三つの理念は維持

意味を再定義

《 理念は残すのではなく、将来像の進化に対応し “アップデートして使い続ける” 》

■ 基本理念の意味（案）

創る → 新たな価値・仕組み・挑戦を創る（デジタル・産業） …

育む → 人材・地域・産業を持続可能に育てる …

広げる → 分野横断・連携・共生社会へ広げる …

※基本理念のイラストイメージ



本日の論点

本日の審議会は将来像・基本理念の文言を決定するものではなく、その方向性や考え方、含めるべき要素についてご意見を頂きたいと考えています。

1. 将来像・基本理念の方向性と考え方
2. 重視すべきキーワード、「笑顔」の位置づけ、村上市らしさとは
3. 将来像・基本理念に盛り込む言葉・考え方について